

個別事業(取組)評価				
事業No.	44	施策の柱への位置付け	⑧ 生涯学習の推進等による教育的風土づくり	
事業名称	教育の日推進事業		担当課	教育政策課
			当初予算額(千円)	3,417
			補正後予算額(千円)	3,838
			決算額(千円)	3,219

当初計画		年度末点検・評価	
① 現状(課題)とその要因	<b>【現状】</b> 本県の教育の現状や、学力・体力・生徒指導上の諸問題など、本県が抱える教育課題に対する県民の関心が高いとはいえない状況がある。 ※ 県民世論調査結果、高知県教育振興基本計画推進会議意見、教育関係団体へのアンケート結果など	<b>ア 正確に把握していたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 県民世論調査結果、高知県教育振興基本計画推進会議委員や高知県教育の日「志・とさ学びの日」推進県民協議会メンバーからの意見、教育関係団体へのアンケート結果などから状況の把握を行っている。	
	<b>【要因】</b> 県民に対して、教育の現状について周知を図ったり、教育に関心を持ってもらえるような取組が十分でなかった。	<b>イ 十分に特定していたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 正確な教育データの公表や関心をもってもらうための取組が、教育について県民が考える契機になるものと考えられる。	

② 目標(Outcome)	◆ 昨年度の教育宣言により制定された高知県教育の日「志・とさ学びの日」の趣旨に沿った取組を推進する。 (趣旨) ・ 全国生涯学習フォーラム高知大会の取組みの意義を一年限りとせず、県民の教育に対する関心を高めるとともに、県民一人ひとりが現在の教育の在り方について見つめ直し、考える機会を設け、行動する日とする。 ・ すべての県民が、教育について理解と関心を深め、高い志を持つ子どもたちを育み、ともに学びあう意識を高めるとともに、一人ひとりが学び目的や喜びを自覚し、生涯にわたって学び続ける風土をつくりあげていくことを目指す。	<b>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 県民意識の醸成については具体的な目標を掲げることが困難であるが、各市町村における取組(教育データの公表や関連行事の実施)の広がりを趣旨の浸透を検証する指標とすることで達成可能なものになると判断している。	
	<b>【検証(比較)方法】</b> ◆ 各市町村の教育データの公表状況、関連行事の実施状況等を調査し検証	<b>エ 目標は達成されたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) 実施初年度であったが、当初の目標であった、時間をかけて徐々に高知県教育の日「志・とさ学びの日」の趣旨の浸透を図っていくための、最初の土台を築くことができた。	

③ 実施内容(Input・Output)	◆ 高知県教育の日「志・とさ学びの日」推進県民協議会の開催 ◆ 教育データの公表 ・ 新聞紙面を使って、高知県の教育に関するデータを公表 ・ 市町村に対しても、可能な範囲で地域の教育関係データを11月号広報誌に掲載してもらうよう依頼 ◆ 関連事業の実施 ・ 児童生徒表彰、学校表彰 ・ 市町村に対しても、可能な範囲で学校開放や各種講演会など趣旨に沿った教育文化行事を関連事業と位置付けたいと11月中旬に実施してもらうよう依頼 ◆ 高知県教育の日「志・とさ学びの日」フォーラムの実施 ・ 記念講演 ・ 教育宣言の趣旨を踏まえ、「志」を持つことの大切さ、楽しさを実感させるための発表会を開催 対象者：県内の中学・高校生 「志」を弁論、ダンス、歌など自由な形で表現 発表者全員を対象に「龍馬の志を辿る京都の旅」を実施 ◆ 広報と市町村・関係団体への支援 ・ 「志・とさ学びの日」サイトの開設 ・ 県広報紙、新聞広告、チラシによる周知 ・ 趣旨に沿った各種行事を関連行事に位置付けてPR	<b>オ 計画通り実施されたか</b> (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> ) ◆ 市町村に対し、教育関係データの広報誌への掲載及び趣旨に沿った教育文化行事の関連事業への位置付けを依頼した。 ◆ 推進県民協議会については、9月上旬の第1回会議で、高知県教育の日「志・とさ学びの日」の趣旨に沿った取組について意見をいただいた。また2月の第2回会議では、今年度の取組の報告を行うとともに、来年度の取組に向けた意見をいただいた。 ◆ 高知県教育の日「志・とさ学びの日」(11/1)における新聞一面での教育データの公表及び「とさ学びの週間」中(11/6)におけるフォーラム、12月末の「龍馬の志を辿る京都研修旅行」を、計画どおり実施できた。中でもフォーラムには、300人以上の会場参加者の参加があり、発表者及び会場参加者とも「志」について、多くの刺激を受けたとのアンケート結果を得た。 ◆ 児童生徒表彰及び学校表彰については、当初計画どおり実施することができた。 ◆ 広報と市町村・関係団体への支援については、高知県教育の日「志・とさ学びの日」サイトを開設し、市町村が実施する関連事業の一覧を掲載するとともに、広く県民に周知を図るための広報媒体(県広報紙、新聞広告、チラシ)での広報を行った。	
----------------------	---	--	--

総合評価と今後の方向	目標達成度 <b>B</b> 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	<b>【今後の方向】</b> 県と市町村において教育データの公表するとともに、学校における一斉参観日など、より多くの県民に興味をもってもらうための取組も展開するなど、息の長い取組を行っていく。
	<b>【総合評価】</b> 事業初年度であったが、県民の教育に対する意識の高揚及び学習活動への参加の機運の醸成を行っていくうえで、最初の土台を築くことができ、来年度以降の取組につなぐことができた。	